

1-9 計画フレームの設定

(1) 計画対象区域

緑の基本計画は都市計画区域を対象として策定することが基本です。

しかし、音更町においては、都市計画区域という限られた区域だけではなく、その周囲を取り囲む自然的条件が一体となって、音更のまちに大きな恩恵を与えてくれます。音更の緑は、まち全体をひとつとしてとらえることが重要です。

このことから、音更町緑の基本計画は、町域全体を対象として計画を策定しています。

表 一 計画対象区域

計画対象市町村名	都市計画区域名
北海道 音更町	帯広圏都市計画
音更町の全域 (46,609ha)	帯広圏都市計画区域の一部 (6,280ha)

(2) 音更町の人口の見通し

国勢調査による人口を見ると、平成7年をピークに北海道の人口が減少している中、音更町の人口は大きく増加し、平成22年国勢調査による人口は45,085人となっています。しかしながら、本格的な少子・高齢社会を迎え、音更町においても、今後は、これまでのような人口の伸びが期待できなくなっています。

音更町では人口が増えることが単にまちの活性化につながるものとはとらえていません。音更のまちの規模に合った人口を想定し、子どもからお年寄りまで各世代の住みよさを考え、今も未来も住み続けたいと思えるようなまちづくりを進めます。

このような状況から、緑の基本計画の目標年次である平成37年の計画目標人口は、『音更町都市計画マスタープラン』や『第5期音更町総合計画』における将来人口を踏まえ、4万8千人とします。

表 一 音更町の人口の見通し

年次	策定時	見直し時現況	計画目標年次
	〔平成12年 西暦2000年〕	〔平成25年3月末人口 西暦2013年〕	〔平成37年 西暦2025年〕
人口	4.0万人	45,466人	4.8万人

(3) 都市計画区域内の人口の見通し

都市計画区域内の人口比率は高い水準で推移していくことが予想されます。

表 一 都市計画区域内の人口の見通し

年次	策定時 〔平成12年 西暦2000年〕	見直し時現況 〔平成25年3月末人口 西暦2013年〕	計画目標年次 〔平成37年 西暦2025年〕
人口	3.5万人	40,541人	4.4万人

(4) 市街化区域の規模

人口増加に伴い拡大してきた市街地ですが、今後については、これまでのような人口の伸びが期待できないことから、適正な規模でのマネジメントが必要となります。

表 一 市街化区域の規模

年次	策定時 〔平成12年 西暦2000年〕	見直し時現況 〔平成25年3月末人口 西暦2013年〕	計画目標年次 〔平成37年 西暦2025年〕
市街化区域人口	3.2万人	38,245人	4.2万人
市街化区域規模	931ha	1,083ha	1,083ha